



鳥瞰図

小松駅周辺の核として、駅・駅前広場と街をつなぐ結节点的な役割を担い、多目的ホール、小ホールを中心とし、コンgresセンター、市民ギャラリー等を配して賑わいを創出する施設としています。

多目的ホールは、最大850席で機軸席を設け、演劇から音楽まで多目的な利用が可能のように、音響反射板や残響可変装置を備え、特に歌舞伎などの伝統工芸に対応できるよう花道、回り舞台、迫り等の舞台機構を備えています。

また、音楽コンサート主体の小ホールは、透明感のあるガラスの壁面とし、多目的ホールとは対照的に明るい「新しい小松」をイメージさせるインテリアとなっています。客席数は250席で講演会などの催し物にも対応できるよう、残響可変装置を備えています。

建築的には、ファサードはガラス張りのカーテンウォール、屋根はなだらかな勾配屋根として、駅舎等周辺施設との調和を図り、新しい小松の顔にふさわしい外観としています。

多目的ホールの内装は、和風「松」をモチーフに現代の歌舞伎小屋をイメージした内部計画としています。内装全般としては、華美にならないよう壁面はシンプルなクロスベンキをベースに、一部九谷焼タイル等をアクセントカラーに用いる等、ポイントを押さえたデザインとしています。

平面計画では、エントランス・研修室・楽屋など多目的ホール部分と地域利用施設の一部を兼用することで、多用途の施設を効率よくコンパクトにまとめています。

また、バリアフリー対応として、アプローチ部分、主要な出入り口の床に誘導点字ブロックの敷設や音声誘導拡声装置、館内案内触知図などを備え、ハートビル法の誘導的基準にも適合させています。さらに、県の施設として初めて多目的ホールの舞台に車椅子使用者が上られるようスロープを設けています。

その他、コスト縮減や省エネルギー対策を含む環境負荷の低減等にも十分配慮した建築計画としています。



多目的ホール

DATA

小松市土居原町地内
平成15年8月完成予定
SRC造：地上4F、地下1F
延 7,000㎡